

No. 12	平成30年度 「地域子育て活動支援事業」 実施の内容
団 体 名	藤原 理佐
事 業 名	「こそだて おはなし会。」事業
実 施 期 間	平成30年4月～平成31年2月
事 業 実 績	<p>子育てに関するワークショップを開催した。 参加対象：未就学児の保護者。滝沢市民ほか近郊住民を広く対象。 会場：ビッグルーフ滝沢・岩手県立大学・国立岩手山青少年交流の家</p> <p>①参加者5名 託児1名 全参加者計11名（託児スタッフ等を含む） ②参加者4名 託児3名 全参加者計12名（同上） ③参加者13名 託児9名 全参加者計48名（同上） ④参加者8名 託児9名 全参加者計41名（同上） ⑤参加者0名のため中止 ⑥参加者5名 託児8名 全参加者数計25名（同上）</p> <p>参加者を20名としていたが全て定員割れとなった。鶉飼幼稚園保護者の参加が無かったことが大きな要因でした。 岩手県立大学を会場としましたが、託児では、保育士課程を学ぶ大学3年生の保育実習体験の授業を兼ねた連携関係ができ、現役保育士と学生で託児を行いました。</p>
実 施 効 果 自 己 評 価	<p>【実施効果】 ほぼすべての方から、参加して良かったというアンケート記入があり、他者の考えや子育て方法を知り、不安解消につながり、前向きに向き合いたいと思うきっかけになっていると感じた。アンケートでは非常に満足度が高く、開催に感謝する言葉を多数いただいた。 岩手県立大学学生の託児参加では、子供の数に比べ保育者の数が多く心配な点もあったが、子供たちは終始楽しく過ごし「もっと遊びたい」と泣く子も多くいた。 学生からは、保育実習を前に現役の保育士から実践的な保育を学ぶことができ、母親の子育て環境を知る良い機会にもなったとのことでした。</p> <p>【自己評価】 定員割れであった一方で、少人数の雰囲気良さや安心感を得られたという声もあり、やりがいを感じた。 「保育士おとーちゃん」として活躍している須賀義一氏の座談会は、参加者の満足度が非常に高かった。 SNSを活用するなど情報発信を継続していくことが、課題の一つである。 岩手県立大学の学生と、現役保育士による託児は、単なる保育の場ではなく、幼稚園教諭、保育士を目指す若者に「こそだておはなし会。」を通じて、子育てや女性としての将来についても考えてもらえる良い機会になった。 滝沢市保育協会の託児協力のもと、ボランティアセンターとの連携もでき、参加者に安心してもらえたと思います。</p>